

成田市長に要望書を提出

栄町は、七月一〇日付けで「要望書」を成田市に提出したところにつきましては、すでにご報告したところです。このたびの成田市における「市町村合併に関する基本的な考え方」を受け、栄町と成田市が、成田空港を核とした新たな都市形成の実現のために、現時点から具体的な検討をする協議基盤の設置を求める「要望書」を、去る一〇月二九日付けで、あらためて成田市長に提出いたしました。

要望書の内容は左記のとおりです。

要 望 書

時下、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先般開催されました成田市議会九月定例会冒頭において貴市は、「市町村合併に関する基本的な考え方」を、「編入合併を前提に『生活圏』と『空港圏』の合致する隣接市町である2市4町を現時点での最大の枠組とし、市町村合併の特例に関する法律の失効期限を視野に入れた協議を展開すべく最大限努力する」と示されました。

本町といたしましては、現時点における貴市の方針としてやむを得ないものと理解するところでございます。しかしながら、平成一五年八月二九日に開催された成田市議会合併協議会において、本町の位置づけを、「将来を見据えての想定合併パターンとして、市域と連たんし、生活圏・行政圏域を共有しており、まちづくりの観点からは要件を具備しており、将来を見据え協議・検証することが望ましい」とし、**2市5町の枠組み**を示していることを確認しているところでございます。

市町村合併は、まちづくりの有効な手段の一つであり、行政改革の推進に

不可欠な要素であると考えております。

本町が、今まで成田都市計画区域として推進してまいりました、2市1町の広域都市計画圏でのまちづくりは、成田市域の中で本町に隣接する地域において、インフラ資源として生活利便性や生活環境の向上が図られるものと考えます。また、貴市を取り巻く周辺地域の将来を見据えたまちづくりとしては、成田空港を核とし自治機能の強化による自立した自治体を目指し、北総地域における中核都市を形成していくことが、今後の行政として強く求められてくることは必然であると考えられます。

そのような中、行政区域の多くが成田市に接している本町にあっては、貴市と市町村合併に関する協議を実施することの必要性を強く感じております。

つきましては、成田空港を核とした新たな都市形成の実現のために、現時点から慎重かつ具体的な検討を実施する新たな協議基盤の設置をお願いしたく要望いたします。

平成一五年一〇月二九日

成田市長 小林 攻 様

町長 大野 眞

本要望書に対する回答が得られましたら、あらためてご報告いたします。

栄町議会からのお知らせ

■九月一二日栄町議会合併問題研究会時点における議員合意事項

栄町議会として、成田市議会に対して合併に関する協議の継続について

成田市議会回答示される

■一〇月一〇日

「要望書」を提出していましたが、九月五日開催された成田市議会冒頭で、小林攻成田市長は空港圏周辺自治体の合併に関して、基本方針を発表し「成田市に隣接する『生活圏』と『空港圏』の合致する地域の2市4町が現時点での最大の枠組み」との認識を示しました。

《合意事項》

一、 将来的な合併も視野に入れ「今後 のまちづくりの手法として市町村合併を有効な手段と位置づけ調査・研究を継続する決議」に基づき、同研究会は今後とも存続させる。

二、 成田市においても、市長の基本方針が発表されたばかりであり、議会の対応や、対象市町の動向も不明確であるので、現時点では成田市に対しての働きかけをせず、事態を静観する。

三、 県担当部局等の助言等を得ながら積極的な情報収集に取り組み、情報分析を行なう。

四、 合併をしないという選択肢についても十分な検討が必要である。

*この時点においては、成田市議会の方針なども示されていないことから、この合意事項としたものです。その後、一〇月一〇日に成田市議会議長並びに副議長が栄町議会に来庁され、成田市議会としての考え方を示しました。その際に、栄町議会として「成田市議会」に対し、成田市が示した2市5町における将来パターンについても、早急に協議をお願いしたい旨、改めて要望いたしました。

■取組方針

僅しこれらを報告した結果、栄町議会としてのこれからの取り組み方針が次のとおり決定いたしました。

- 一、 今後のまちづくりの手法として市町村合併を有効な手段と位置づけ引続き「成田地域」との合併の是非も含めた協議を推進する。
- 二、 成田市議会と栄町議会との2者で合併の是非も含めた協議を早急に再開するため協議会を設置し検討する。
- 三、 合併問題については、成田市議会との協議を進める中、栄町議会として「合併しない」という選択肢についても栄町執行部と情報の交換を行い、法定期限（平成一七年三月三十一日）にはこだわらず十分な検討を行なう。

現在、政治・経済が非常に不透明・不安定の中、国で示す三位一体の改革の重要な柱である税源移譲についても、未だどのような税配分になるか決定しておりません。

このような中、今後とも私たち栄町議会はより多くの情報を収集し、町民、町執行部、議会が一体となり、将来に禍根を残さないような判断をしてまいりますので、町民の皆様方にはご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

●議会に関するお問い合わせは左記までお願いいたします。

栄町議会事務局
0476（95）1111
内線511

おわりに

現在の栄町を取り巻く環境は、市町村合併問題に限らず、少子高齢化の進展、景気の長引く低迷による町税の減少など、他の自治体同様に、非常に厳しい状況にあります。町といたしましては、合併問題をはじめとした多くの課題を、着実に一つずつ解決し、「交流力」と「協働」によるまちづくりの実現により、町民の皆さんの満足度向上に努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



編集後記

今回は、成田地域における市町村合併協議の経過と、栄町議会の取り組みなどについてお知らせいたしました。 今後は、皆さんより寄せられたご意見などの回答についても、ドラムの手帳などでお知らせしていきたいと考えています。

◇ お問い合わせ先
企画政策室 政策管理グループ
電話 95-1111
Eメール kikaku@town.sakae.chiba.jp